



2026年6月19日

各位

会社名 Hm c o mm株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 三本 幸司  
(コード：265A、東証グロース市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員 CFO 土屋 学  
(TEL. 03-6550-9830)

**対話型 AI エージェント「Terry2」による次世代問い合わせ業務自動化 PoC 開始のお知らせ**  
～株式会社ジップとの連携により、「FDE (Forward Deployed Engineer)」を活用した社会実装を推進～

当社 Hm c o mm株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：三本 幸司、以下Hm c o mm) は、株式会社ジップ(本社：岡山県瀬戸内市、代表取締役社長：神崎 宏、以下ジップ) と連携し、当社の対話型 AI エージェント「Terry2」を活用した問い合わせ業務自動化 PoC (概念実証) を開始について、本日社内において正式に決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 本件の概要

本 PoC は、各種問い合わせ対応業務に対し、生成 AI・音声 AI を活用した次世代型オペレーションへの転換可能性を検証するものであります。

ジップ と連携し、問い合わせ対応領域に対して、Terry2 を活用した音声・テキスト対応型 AI エージェントを適用し、実運用を見据えた検証を進めてまいります。

2. 「FDE (Forward Deployed Engineer)」アプローチについて

今回の取り組みでは、従来型の受託開発モデルとは異なり、当社が保有する対話型 AI エージェント基盤「Terry2」をベースに、問い合わせ業務フローそのものを AI ネイティブに再設計する「FDE (Forward Deployed Engineer)」アプローチを採用しております。

また、本 PoC では、複雑な RAG 運用や大規模データ整備を前提とせず、プロンプト制御を中心とした軽量・高速な AI 運用モデルを採用しており、業務部門主導で AI 改善サイクルを回せる構成を特徴としております。

さらに、実際の問い合わせ業務運営ノウハウを有する ジップ と連携することで、単なる技術検証に留まらず、実オペレーション環境における AI エージェント活用モデルの構築を目指しております。

3. 期待される効果

これにより、以下のような新たな業務基盤モデルの構築を目指します。

- ✓ 問い合わせ対応の自動化
- ✓ オペレーションコスト削減
- ✓ ナレッジ運用の省力化
- ✓ 業務立ち上げスピード向上

これらにより、従来のコンタクトセンター/BPO 運営とは異なる、新たな業務基盤モデルの構築を目指します。

4. 今後の展望

当社は今後も、「音×AI」の技術基盤を活用し、AI エージェントを中核とした次世代業務インフラの社会実装を推進するとともに、BPO・コンタクトセンター領域を中心に、実運用パートナー様との連携を強化しながら、中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

5. 契約の相手方の概要

(1) 名 称	株式会社ジップ	
(2) 所 在 地	岡山県瀬戸内市長船町長船 301-11	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 神崎 宏	
(4) 事 業 内 容	ダイレクトマーケティング事業（物流支援、商品発送） 受注支援（コンタクトセンター、事務代行） 企画・販促支援（企画制作、マーケティングオートメーション） 人材紹介事業 アウトソーシング事業 自然エネルギー関連事業	
(5) 資 本 金	3,000 万円	
(6) 設 立 年 月 日	1991 年 10 月 1 日	
(7) 株 主	日宝総合製本株式会社、株式会社ベネッセコーポレーション	
(8) 当 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※持ち株比率、最近3年間の財政状態及び経営成績については、先方要請により公表を控えさせていただきます。

6. 本 PoC の開始時期

2026 年 6 月 19 日

7. 今後の見通し

本件が 2026 年 12 月期業績に与える影響は軽微ではありますが、中長期的には当社の AI エージェント事業拡大に寄与するものと考えております。今後、業績に重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかに開示いたします。

以 上